

介護家族等に関する県民意識調査

調査票

■ 基本情報

問1 あなたの住まいの市町村名を選んでください。(1つだけに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1 前橋市 | 19 甘楽町 |
| 2 高崎市 | 20 中之条町 |
| 3 桐生市 | 21 長野原町 |
| 4 伊勢崎市 | 22 嬬恋村 |
| 5 太田市 | 23 草津町 |
| 6 沼田市 | 24 高山村 |
| 7 館林市 | 25 東吾妻町 |
| 8 渋川市 | 26 片品村 |
| 9 藤岡市 | 27 川場村 |
| 10 富岡市 | 28 昭和村 |
| 11 安中市 | 29 みなかみ町 |
| 12 みどり市 | 30 玉村町 |
| 13 榛東村 | 31 板倉町 |
| 14 吉岡町 | 32 明和町 |
| 15 上野村 | 33 千代田町 |
| 16 神流町 | 34 大泉町 |
| 17 下仁田町 | 35 邑楽町 |
| 18 南牧村 | |

問2 あなたの性別を選んでください。(1つだけに○)

- | | |
|-----|-------|
| 1 男 | 3 その他 |
| 2 女 | |

問3 あなたの年齢を選んでください。(1つだけに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 40～44歳 | 4 55歳～59歳 |
| 2 45～49歳 | 5 60歳～64歳 |
| 3 50～54歳 | 6 無回答 |

問4 あなたの就業状況を選んでください。(1つだけに○)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1 会社員(サラリーマン) | 5 保育士・介護職員・看護師等の医療福祉職 |
| 2 会社経営者・役員 | 6 自営業 |
| 3 公務員 | 7 その他() |
| 4 パート・アルバイト等 | 8 無職 |

問5 あなたと同居している家族等を選んでください。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------|----------|
| 1 配偶者(夫、妻) | 4 孫 |
| 2 親(配偶者の親を含む) | 5 一人暮らし |
| 3 子ども(息子、娘) | 6 その他() |

■介護保険制度について

問6 介護についての知識や介護保険の仕組みを知っていますか。(1つだけに○)

- | |
|-------------|
| 1 知っている |
| 2 おおむね知っている |
| 3 あまり知らない |
| 4 知らない |

問7 あなたの介護保険料(医療保険の介護分)が概ねいくらか知っていますか。(1つだけに○)

- | |
|---------|
| 1 知っている |
| 2 知らない |

(問8で「4 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に住み替えて介護を受けたい」または「5 特別養護老人ホームで介護を受けたい」と回答した方のみ伺います)

問8-2 施設を選ぶ際に何を考慮するか選んでください。(主なもの3つ以内に○)

- 1 空き部屋(ベッド)があり、比較的すぐに入所が可能である
- 2 本人の住み慣れた場所に近い
- 3 自分を含めた家族の居住地に近い
- 4 施設への交通アクセスが良い
- 5 地域での知名度・評判が高い
- 6 それまでのサービス利用等でなじみがある
- 7 医療的ニーズに対応できる
- 8 看取りの体制が整っている
- 9 普段利用している医療機関と連携している
- 10 その他 ()

問9 親族の介護をした経験はありますか。(1つだけに○)

- 1 ある
- 2 ない →問16へお進みください。

(問10～問15は、問9で「ある」を選んだ方にのみ伺います)

問10 その時の介護の対象者は誰ですか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 配偶者(夫、妻)
- 2 あなたの父母
- 3 配偶者(夫、妻)の父母
- 4 あなたの祖父母
- 5 配偶者(夫、妻)の祖父母
- 6 その他 ()

問11 介護をしている時、介護保険サービスを利用しましたか。(1つだけに○)

- 1 利用した(している)
- 2 利用しなかった(していない)

問12 介護保険サービスを利用した場合、その満足度はいかがでしたか。(1つだけに○)

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば不満である
- 5 不満である

■介護離職について

問13 あなたまたは配偶者が、介護のために離職をしましたか。（1つだけに○）

- 1 離職した
- 2 離職しなかった →問13-3へお進みください。

（問13で「離職した」を選んだ方にのみ伺います）

問13-2 離職した理由を選んでください。（最大のもの1つだけに○）

- 1 仕事と介護の両立が体力的に難しかった（限界だった）
- 2 仕事と介護の両立が精神的に難しかった（限界だった）
- 3 仕事と介護の両立について、職場の理解がなかった
- 4 他に介護を分担してくれる家族がいなかった
- 5 介護サービスが利用できなかった
- 6 介護サービスの存在や内容を十分知らなかった
- 7 介護休業制度や短時間勤務などの支援制度がない
（支援制度があることを知らず活用できなかった）
- 8 経済的に離職が可能な見通しがたった
- 9 自身で介護をしたかった
- 10 その他（)

（問13で「離職しなかった」を選んだ方にのみ伺います）

問13-3 離職しなかった理由を選んでください。（最大のもの1つだけに○）

- 1 他の親族が介護を担った
- 2 経済的な問題（収入の減少など）から離職できなかった
- 3 介護保険サービスを活用することにより、在宅で対応できた
- 4 介護休業制度や短時間勤務などの支援制度を活用した
- 5 施設入所が決まった
- 6 その他（)

■介護・育児の同時対応や子どもによる介護・育児について

問14 親族の介護と同時に、子どもの育児のダブルケアを行ったことがありますか。
(1つだけに○)

- 1 過去にダブルケアを行ったことがある
- 2 現在、ダブルケアを行っている
- 3 ダブルケアを行ったことはない →問15へお進みください。

※用語の解説

【介護と育児のダブルケア】

親や親族の介護と、自身の子育てが同時に発生する状態のことをいいます。近年、女性の晩婚化や晩産化などを背景として、育児期（小学6年生まで）にある者が親や親族の介護も同時に引き受ける状況になることが多く見られます。

(問14-2から問14-4は、問14で「1 過去にダブルケアを行ったことがある」「2 現在、ダブルケアを行っている」を選んだ方にのみ伺います)

問14-2 ダブルケアを行ったことがある（行っている）ことによる就業への影響をお聞かせください。
(1つだけに○)

- 1 仕事をやめた
- 2 転職した
- 3 就業形態（短時間勤務等）を変更した
- 4 何らかの対応を検討している
- 5 その他 ()
- 6 特にない

問14-3 ダブルケアの負担感についてお聞かせください。（最大のもの1つだけに○）

- 1 精神的な負担が重い
- 2 体力的な負担が重い
- 3 経済的な負担が重い
- 4 保育施設が利用できない
- 5 介護保険サービスが利用できない
- 6 親等の介護や子どもの育児が十分にできない
- 7 相談窓口が分からない
- 8 ダブルケアの負担について周囲の人の理解が十分でない
- 9 自分の時間がとれない
- 10 その他 ()
- 11 特にない

問14-4 県・市町村が、ダブルケアの課題に対して取り組むべき支援策についてお聞かせください。（主なもの3つ以内に○）

- 1 保育施設の施設数や定員を拡充
- 2 保育施設の質（職員の技術や安心感など）を向上
- 3 介護保険サービス事業所(通所介護(デイサービス)など)の施設数や定員を拡充
- 4 介護保険サービス事業所の質（職員の技術や安心感など）を向上
- 5 保育施設と介護保険サービス事業所を近接して整備
- 6 育児や介護に関する情報提供の充実
- 7 性別による役割分業の意識改革のための啓発活動
- 8 育児・介護にかかる費用負担の軽減（経済的支援）
- 9 育児・介護に関する相談窓口の一本化
- 10 育児・介護に関する手続きの簡素化
- 11 その他（)
- 12 特にない

問15 20歳未満の子どもに、高齢者の介護や障害・病気のある親族（祖父母・親・きょうだいなど）の介護・育児を手伝ってもらった経験がありますか。（1つだけに○）

- 1 ある
- 2 ない →問16へお進みください。

（問15で「ある」を選んだ方のみに伺います）

問15-2 そのときの子どもの状態に変化はありましたか。（主なもの3つ以内に○）

- 1 介護・育児に対して理解するようになった
- 2 介護・育児を通じて親族に親しみを感じるようになった
- 3 家事を手伝うようになった
- 4 学校を退学・休学した
- 5 学校に遅刻や欠席することが多くなった
- 6 子どもに過度に介護・育児の負担がかかってしまった
- 7 自由な時間がなくなり、ストレスを感じていた
- 8 子どもの心身の健康状態が悪化した
- 9 その他（)
- 10 特にない

※用語の解説

【子どもが大人と同等以上の介護の担い手になっていることの問題（ヤングケアラー）】
子どもが介護・育児を手伝うことにより、介護・育児に対する理解が進んだり、親族に対して親しみを持つようになったりするなど、良い影響があると言われています。
その一方で、家族に介護・育児などケアを必要とする人がいる場合に、家庭の事情により大人が担うような介護・育児などを行って責任を引き受け、家事や家族の世話などを行っている子どももいます。定義は定まっていますが、このような子どもは「ヤングケアラー」と呼ばれており、子どもにとって本人の年齢以上の負担が生じてしまう場合もあります。

■ 地域包括支援センターについて

問16 あなたは「地域包括支援センター」を知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

※用語の解説

【地域包括支援センター】

介護や保健、福祉などさまざまな面から地域で暮らす高齢者の皆さんを支えるための拠点として、各市町村には「地域包括支援センター」(※)が設置されています。※市町村によっては「高齢者あんしんセンター」などの名称の場合もあります。

問17 地域包括支援センターでは、高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう、様々な相談に応える総合相談支援業務を行っています。あなた自身や家族のことなどで相談してみたいことがあれば、教えてください。(主なもの3つ以内に○)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 健康づくりや介護予防 | 5 権利擁護(高齢者虐待、財産管理など) |
| 2 介護保険サービスの利用 | 6 分からない |
| 3 家族等の介護 | 7 その他() |
| 4 認知症 | 8 特にない |

問18 地域包括支援センターにどのようなことを期待しますか。(主なもの3つ以内に○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1 相談支援業務の充実 | 6 介護保険サービスの利用相談 |
| 2 介護予防の普及 | 7 分からない |
| 3 認知症に関する支援 | 8 その他 |
| 4 高齢者の生活支援の充実 | () |
| 5 権利擁護の充実
(高齢者虐待、財産管理など) | 9 特にない |

■その他

問19 県や市町村が、介護について取り組むべき支援についてお聞かせください。
(主なもの3つ以内に○)

- 1 家族で介護するための方法や助言を相談できる体制の整備
- 2 医療機関を退院後、スムーズに介護サービスを受けられる体制づくり
- 3 通所介護（デイサービス）、訪問介護（ホームヘルパーサービス）や短期入所（ショートステイ）など、在宅で介護を続けられるサービスの充実
- 4 配食、見守り、ゴミ出しなど生活支援サービスの充実
- 5 GPS機能を活用した居場所発見システムの整備
- 6 特別養護老人ホームやグループホームなどの福祉施設の整備促進
- 7 介護予防や認知症に関する講演会などの取組の充実
- 8 認知症カフェや介護者カフェなど、認知症や介護についての相談や情報の場
- 9 近所の人同士が助け合う互助の仕組みや、近所で誰もが集まれる居場所の充実
- 10 その他（)
- 11 特にない

問20 あなたが日頃、介護保険制度や高齢社会に関し感じていることや、ご意見・ご要望などがありましたら自由に記載してください。

ご協力いただき、ありがとうございました。